



2011年も残すところわずかとなりました。秋（もう冬になってしまいましたが・・・）の夜長に何冊かの本を読みました。「元気になる子育ての本③」から紹介します。

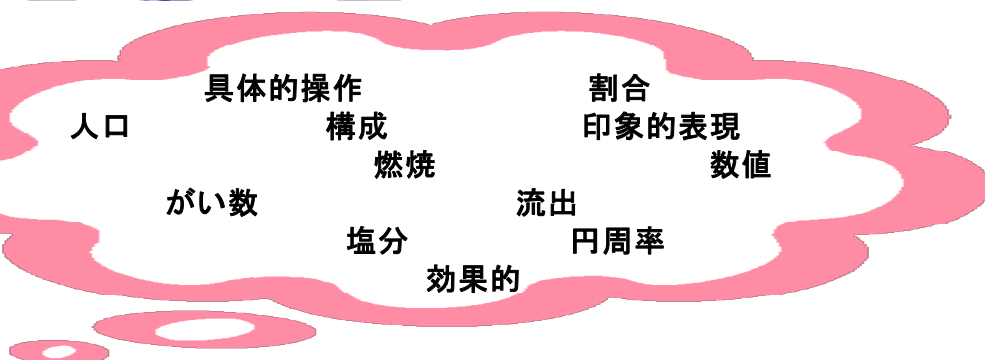
一つめは・・・

小学生の学習の中で最大の難関。

「9才の壁」を乗り越える

学習の中で急に増える「抽象的な言葉」

出典 元気になる子育ての本③
「小学生学力を伸ばす 生きる力を育てる」
東京大学名誉教授、白梅学園大学長
汐見稔幸 著



なんだかよくわからない・・・。

実際に見たり触ったりできるものの名前はかんたんに理解できますが、抽象的な言葉の理解は難しい。「この壁を乗り越えないと、思考の世界を複雑にしていったり、深めたりすることができなくて、いわばもので対応できる世界の会話しかできません。」「この抽象的な世界を理解するハードルを乗り越えないとその後の学習がうまく発展していかない。」のだそうです。

さぼっているわけでもなく、話を聞いていないわけでもないのに・・・。塾に行っているのになかなか伸びない時には、この辺のつまずきがあるのかもしれません。



さて、どうしたら・・・



ポイントは

豊かな体験とていねいな日常会話



子ども達は普段の会話の中で少しずつ想像力を働かせながら抽象的な言葉を理解しています。「体験したことを聞いてあげる」「どんなふうに思ったか気持ちを伝え合う」「ニュースや身近な話題を説明したり、意見を求めたりする」など、コミュニケーションを大事にしていきたいものです。

※心配なことがありましたら担任、または担当福田までご相談ください。

----- きりとり -----
<メッセージ>

「ふれあい」No.6